

バーバーショップ・ツールボックス

はじめに

2017年3月



はじめに

ジェンダー平等のための活動を数十年にわたりリードしてきたのは女性たちです。その取り組みに男性たちの参加は不可欠ですが、女性たちのこれまでの活動やリーダーシップを支援するようなかたちで、配慮しながら前向きに関わることが必要です。

このような考え方と、数十年に及ぶ女性の権利に向けた取り組みをベースに、バーバーショップのコンセプトは考案されました。これはアイスランドとスリナム両政府の協力によるもので、ジェンダー平等を推進するパートナーとして男性を巻き込み、参加させることを目指しています。

最初のバーバーショップ会議は2015年1月にニューヨークの国連本部で開催され、500名を超える参加者を集めて大成功を収めました。およそ100名の国連大使が開会を記念する昼食会に参加し、これほど多くの男性高官たちがジェンダー平等について率直な意見を交わすためだけに国連に集うのは初めてのことでした。

この会議の成功を土台とし、ジェンダー平等が世界の指導者たちの課題として確かな位置を占めるよう、アイスランド政府はその後もブリュッセルのNATO本部やジュネーブの国連事務局などでバーバーショップ・イベントを数回開催しています。

このツールボックスは、アイスランドのUN Women国内委員会が同国の外務省のために、HeForShe国家元首インパクト・チャンピオンとしてのアイスランドの取り組みの一環として作成したものです。このツールボックスには、マイケル・キンメル氏など同分野におけるさまざまな専門家やメンエンゲイジ・アライアンス、プロムンドの「プログラムH」、そのレバノン・バージョンでABAADと共同で開発された「プログラムRa」（アラビア語で男性を意味するRajolにちなんだ名称）などを参考にした活動が収められています。

ツールボックスの開発において、プロムンドとメンエンゲイジ・アライアンスからいただいた指導と助言に感謝いたします。

はじめに

なぜバーバーショップ・ツールボックスを使うのか

バーバーショップ・イベントの目的は、安心して話ができる環境を設けて男性同士の議論を促すとともに、そのような場での女性の声も高めていくことで男性たちを刺激し、ジェンダー平等についての話し合いに男性を引き入れることにあります。バーバーショップのコンセプトは男性同士の対話に焦点を当てていますが、このバーバーショップ・ツールボックスを使って、女性と男性と一緒にこの重要な問題に向き合う機会も作ることができます。

バーバーショップ・ツールボックスの使い方

このツールボックスは、周囲の男性をジェンダー平等の実現に巻き込む方法を探している人々を手助けします。これから説明する各ツールは、主催者の立場、参加者の立場、または実施時間の状況などに合わせて、最も適切な形でそれぞれ個別に使用することができます。例えば主催者はどれか1つのツールのみを利用することもできますし、大きな会議やイベントを開く場合には複数のツールを選ぶこともできます。ただし、ジェンダー平等の実現は長い道のりであること、そしてこれらのツールは、まず会話をスタートさせ、変化を起こすためのきっかけづくりであることを心に留めておくべきです。

どのツールにおいても、バーバーショップ・イベントの開催方法について段階的な手順を示しています。セッションの明確な目標、運営上のガイドライン、議論の進行方法についてのアドバイス、そして参考資料や次のステップへの提案が示されています。

「最初の一步」の章をよく読み、そのアドバイスに基づいてツールと進行役を選んでください。

参考資料

[アイスランドのバーバーショップへの取り組みの詳細](#)

[グドゥロイグル・トール・トールダルソン（アイスランド共和国外務大臣）](#)

[「バーバーショップのコンセプトについて」](#)

[ヴィグディス・フィンボガドゥティル（民主的な直接選挙により選ばれた世界で初めての女性大統領である、アイスランド元大統領）](#)

[「男性と男児の参加の重要性について」](#)

[HeForShe運動についてさらに知りたい方へ](#)

[エリザベス・ニャマヤロ](#)

[「女性にとってよりよい世界を望む男性を『招き入れる』ということ」、HeForShe運動に関するTEDトーク](#)

[HeForSheストーリー](#)

なぜバーバーショップ（床屋）なのか

男性であれば床屋に行ったことがあるでしょう。そこでは男性たちが互いに言葉を交わし、男性として、女性としての行動や態度を（男としてどうあるべきかについても含めて）学び、話し合い、身につけていきます。男性たちは床屋（あるいはロッカールーム）でよく男女の関係について話に花をさかせますが、ほとんどの場合、そうした会話には女性と男性のステレオタイプな役割が反映されていて、ジェンダー間の不平等の根本に横たわる深刻な問題に話が及ぶことはまずありません。

バーバーショップ・イベントを開催すれば、男性の行動や特権、そして、女性のエンパワーメントを実現するうえでの男性の役割について、男性同士で話し合うことができます。そうすることで、男性たちが個人のレベルでジェンダー平等に積極的に取り組み、周囲の男性たちを刺激して仲間に加え、世界中の床屋やロッカールームでジェンダー平等について話し合うよう促していくのです。

力を合わせればジェンダー平等は実現できます。